

野菜だより(8) 天敵を呼び寄せる

— 綾部研究拠点 —

山あり川ありの豊富な自然環境に囲まれた中山間地域では、水田や畑とともにハウスを使った野菜栽培が盛んです。この豊かな自然を背景に、ハウスでは多種多様な害虫が発生しますが、その反面、周辺の山や畦にはたくさんの天敵が住んでいます。このような天敵を土着天敵といいます。この土着天敵をハウスのまわりから呼び寄せ、害虫を防除する技術の開発が進んでいます*)。野菜は害虫に食べられると天敵を呼び寄せる匂い物質を出します。この匂い物質を人工的に合成してハウスに置くことで土着天敵を呼び寄せ、化学農薬の使用を減らそうというものです。綾部研究拠点では、この方法によりアブラナ科野菜の大敵である「コナガ」の土着天敵「コナガサムライコマユバチ」をハウスに呼び寄せ、コナガの発生数を減らせることを確かめました。



自然豊かな中山間野菜栽培



土着天敵コナガサムライコマユバチの成虫



コナガの幼虫

*)生物系産業創出のための異分野融合研究支援事業(H14~18年)により、京都大学を中心に綾部研究拠点を含む6研究機関で行った研究です